

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	武雄市立武雄北中学校		
2 所在地	武雄市武内町大字真手野 25956-3		
3 校長名	宮地 洋州		
4 学級数 児童生徒数	5 学級 114 人	5 実施学年 児童生徒数	全学年 114 人

6 取組のねらい

- ・ユニバーサルデザインの考え方を知り、それが人やものにどのように活かされているかを理解する。
- ・体験活動を通し、「みんなが暮らしやすい社会」を意識し、行動できる生徒の育成を図る。

7 取組の実際

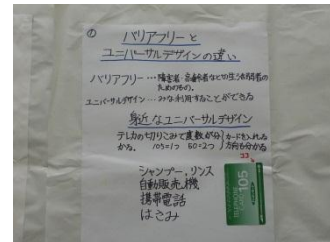
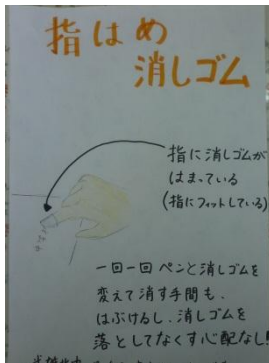
(1) UDを知る

嬉野高校社会福祉系列の生徒による出前講座を受け、UDの基本知識を学んだり、UD製品を使ってみたりして、自分の身の回りのUDについて理解した。



(2) UD実行委員の活動

有志によるUD実行委員を立ち上げ、UDの広報活動や子どもUDコンクールへの出品などに積極的に取り組んだ。



(3) UD体験ワークショップ

佐賀大学より講師を招き、全校生徒が体験ワークショップを行った。手足を使わないTVゲームやパソコン操作、障がいをもつ方々との触れ合いを通し、だれもが暮らしやすい社会に興味・関心を持つ生徒が増えた。



(4) ふれあいかるた大会

1年生の総合的な学習の時間に、保護者と地域の老人クラブの方々を招き、かるた大会を開催した。かるたはUDを意識し、「文字は大きく、色ははっきりわかりやすく」を心がけて自作した。また読み手は「声を大きく、はっきり、ゆっくり」を心がけて読むことを意識した。老人クラブの方々から「また来年も来たい」との声をいただいた。



8 取組の成果と課題

取り組み以前は、UDという言葉は知っていてもその考え方を知らないという生徒が9割以上であったが、学習を進めていく中で、「UDのことがよくわかった」、「世の中にもっとUDを増やすべきだ」、「どんな人も同じように働いたり遊んだりできる世の中にしたい」など、UDに関心を持ち、自分も関わりたいという生徒が増えたことが成果としてあげられる。

課題としては、学んだことを生活の場で実践すること、UDへの興味・関心をもち続けることである。今後も何らかの形でUD教育を継続していくことが必要である。